

保健だより

発行：県立青谷高等学校保健室 <冬休み前号>

今年も残りわずかとなりました。みなさんにとって、今年はどうな1年でしたか。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染症が流行しています。気を抜かず、感染症対策を続けていきましょう。

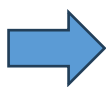
第2回学校保健委員会 報告

12月5日(木)に、学校医の大津千晴先生、学校歯科医の塙屋智之先生、学校薬剤師の井上千晶先生をはじめ、PTAの代表の方々や本校職員で、話し合いを行いました。保健室利用状況や、性に関する取組などの報告をし、意見交換を行いました。

今年度のむし歯の治療率(11月末集計)

むし歯で受診が必要な人

42人



受診した人

6人



まだ受診していない人

36人

治療がまだの人は、冬休み中に受診してください!!!

学校歯科医 かきや 塙屋先生より



主体的に(自分からすすんで)改善しようとする必要がありますです。むし歯以外にも、要観察歯(むし歯になりかけの歯)、歯周病にも注意が必要です。歯周病の始まりは、高校生の時期から始まっています。

学校医の先生方からのアドバイスをいただきました!

学校医 大津千晴先生より

「整理整頓をすること」が基本です。今のうちに整理整頓をきちんとして、習慣づけると社会に出た時に役に立ちます。

学校薬剤師 井上千晶先生より

コロナの期間も長かったため、コミュニケーション不足が気になります。友達同士で相談できる関係性ができていますか。

生徒保健委員会の活動(歯科保健出前講座)

12月10日(火) 青谷小学校へ行き、歯の指導を行いました。歯に関する〇×クイズや紙芝居・絵本の読み聞かせを行いました。3年次保健委員から、「歯みがきの大切さを教えることができてよかった。」「子どもたちがしっかり話を聞いてくれてよかった。」などの感想があり、それぞれの役割でやりがいを感じて歯の指導を実施することができたと思います。最初は緊張や不安があった様子でしたが、小学生がとても元気で反応してくれ、楽しく充実した時間となりました。

